

2がつ 給食だより

暦の上では立春を迎えますが、まだまだ寒い日が続きます。体を動かし、栄養バランスの良い食事をとり、1年で最も寒い2月を元気に乗り越えましょう。2月3日には節分豆まき会があり、給食室でも節分の行事食を提供します。節分の日には食べるものは地域によって違いがありますが、園では、イワシを使った料理と恵方巻を出しますので楽しみにしててください。



節分にイワシを食べる？



節分には豆をまくだけではなく、いわしを食べる習慣もあります。これはいわしの独特なおいを鬼が嫌うため、魔よけとして食べられてきました。頭を焼くことでさらににおいが強くなる。においで鬼を追い払うために、節分にはいわしを食べるのです。園では、節分の給食にいわしの南蛮漬けを出します。お楽しみに。



恵方巻（えほうまき）ってなに？



恵方巻とは、節分の日にはその年のもっともよい方角に向かって、黙って食べると願いが叶うとされている太巻きずしのことです。今年の恵方は西南西です。園ではおやつとして恵方巻を出します。おいしく食べてくれますように。



給食やおやつを食べ終わると、子どもたちがいつも「ごちそうさまでした！」「おいしかったです。」と毎日言いに来てくれます。また、給食を配膳するときに、「きょうのおやつはなに？」「この料理はどうやって作ったの？」と聞いて、給食にとっても興味を持っています。これからも子どもたちにおいしく食べてもらって、食にどんどん興味を持ってもらいたいと思います。



給食試食会について

2月8日の保育参観とともに給食試食会も実施します。今年のテーマは九州の郷土料理です。給食職員が子どもたちにおいしく食べてもらえるように思いを込めて作ります。普段見ることのできない子どもたちの給食姿をぜひ見に来てください。

